

要綱第3号様式

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成27年8月6日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市南区上鳥羽塔ノ本30-2		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 都タクシー株式会社 代表取締役 筒井 基好 電話 075-671-6101					
主たる業種	一般乗用旅客自動車運送業				細分類番号	4 3 2 1	
事業者の区分	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	環境方針・環境活動報告・エコドライブ指針に基づき年平均3%以上のCO2削減を目指す						
計画を推進するための体制	社長を責任者とした組織体制により実施計画の策定及び進捗管理を行う。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23~25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	9,374.6 トン	12,376.8 トン			32.0 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	9,190.0 トン	12,376.8 トン			34.7 パーセント	
	実績に対する自己評価	GPS無線による効率の良い配車とアイドリングストップの呼びかけを継続しているが、営業キロ数が増加したため、排出量が増加した。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	営業車両	事業活動に伴う排出の量	3.08	2.13			-30.84 パーセント
		走行距離km/100					
		事業活動に伴う排出の量	()				パーセント
	実績に対する自己評価	GPS無線による効率の良い配車とアイドリングストップの呼びかけを継続しているが、営業キロ数が増加したため、原単位排出量は減少した。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		33.0 パーセント	33.0 パーセント				
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	GPS無線による走行の効率化の継続					
	(27)年度						
	(28)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	会社近隣者への自転車通勤の推奨の継続実施。夜勤者の入庫時間の指導					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	自家用車両減少。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの		トン	トン	トン		
	地域産木材の利用によるもの		トン	トン	トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの		トン	トン	トン		
	グリーン電力証書等の購入によるもの		トン	トン	トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量		トン	トン	トン		
合計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	低燃費車へ入替の促進及びアイドリングストップの徹底。地域ボランティア清掃						
特記事項	H26.10月より太陽光発電設備を稼働(能力:1,800kw)						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。